

●発表日: 令和3年(2021年)4月22日

資料No.3

## 田原市博物館企画展 プレ巡回展を行います

田原市博物館では、今年度の目玉の企画展として、「ボタニカルアートで描く世界 太田洋愛展」(10月2日(土)～11月28日(日))を開催します。

新型コロナウイルス感染症の流行により、講演会等の関連事業の開催が難しくなっている(※1)ため、本企画展では太田洋愛作品のプレ巡回展(※2)を行い、企画展をPRするとともに、多くの方に作品を鑑賞する機会を提供します。4月22日(木)市長定例記者会見には、会場に作品を展示します。ぜひご紹介ください。

### ○展示作品

- (1)「オオタザクラ」太田洋愛氏が発見し、命名
  - (2)「シクラメン」 12月の渥美半島の鉢物
- 作品はピエゾグラフ(作品のあらゆる“質感”を再現するデジタルプリント)による複製

※1 4月30日(金)成章高校創立120周年記念事業「オオタザクラ植樹式」記念講演会  
は中止

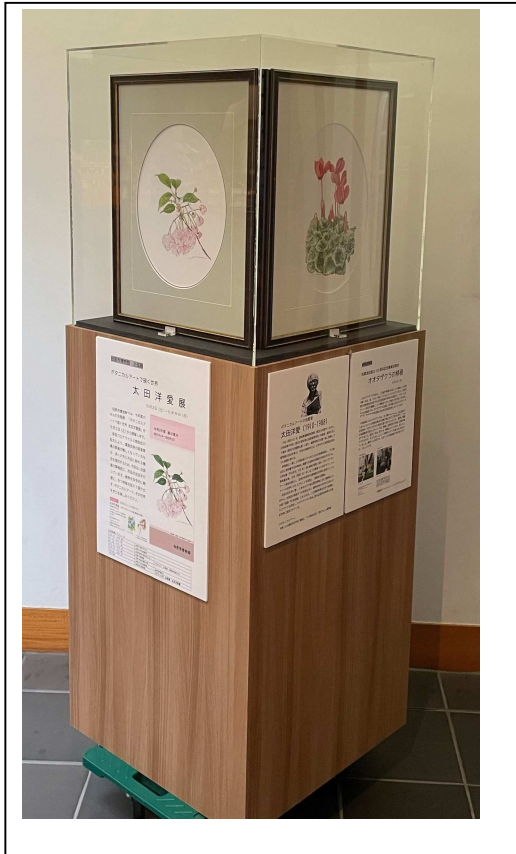
・代替として、同窓会長(石黒 功)・校長(青山昌俊)・博物館長(増山禎之)のコメント動画を、関係者にオンライン配信。後日、YouTube成章会(成章高等学校同窓会)チャンネルにアップ予定。

### ※2 プレ巡回展

日 程	場 所	備 考
4月20日(火)～30日(金)	田原市役所 南庁舎1階	4月22日 市長定例記者会見 会場展示
5月1日(土)～31日(月)	中央図書館	
6月1日(火)～11日(金)	赤羽根市民センター	
6月12日(土)～8月15日(日)	田原市博物館	6月26日～8月15日 企画展 移動美術館2021開催
8月16日(月)～9月3日(金)	渥美支所	
9月4日(土)～30日(木)	中央図書館	直前情報紹介
10月2日(土)～	田原市博物館	10月2日～11月28日 企画展 太田洋愛展開催

(担当) 文化財課 主任 高橋映美子 電話 (0531) 22-1720

○展示物



展示ケース

田原市博物館 企画展

ボタニカルアートで描く世界

## 太田洋愛展

10月2日(土)～11月28日(日)

田原市博物館では、今年度の目玉の企画展「ボタニカルアートで描く世界 太田洋愛展」を10月2日(土)から開催します。新型コロナウイルス感染症の拡大により、講演会等の関連事業の開催が難しくなっているなか、多くの方に作品に触れる機会を提供するため、今回は、企画展の開催前に、作品の巡回を行っています。植物を科学的に正確に、かつ特徴を捉えて描き出す、ボタニカルアート。その世界をぜひお楽しみください。

令和3年度 展示案内  
2021年4月～2022年3月

田原市博物館

企画展 10月2日(土)～11月28日(日)  
太田洋愛展 一ボタニカルアートで描く植物の美しさ  
【企画展が11日】  
社会科(ボタニカルアート)・理科(植物)の授業で、本展の作品を鑑賞します。

企画展イベント  
ボタニカルアート  
会場は田原市立美術館  
(田原市立美術館1階ホールにて) 7月19日(日) 10月2日(土) 10月28日(日)

巡回展スケジュール

4/19(月)～4/20(火)	田原市役所本庁舎	
5/1(土)～5/21(日)	田原市中央図書館	
6/1(火)～6/11(金)	田原市総合市民センター	
6/12(土)～6/15(日)	田原市博物館	6/26-8/15 企画展 移動美術館 2021
8/18(月)～9/3(金)	田原市役所産業支庁	
9/8(土)～9/20(木)	田原市中央図書館	
10/1(金)	田原市博物館	10/2-11/28 企画展 太田洋愛展

パネル① 太田洋愛展

ボタニカルアートの先駆者

## 太田洋愛 (1910-1988)

1910(明治43)年、愛知県渥美郡田原町(現在の田原市)生まれ。旧制成章中学校(現在の愛知県成章高等学校)卒業後、画家を志して満州(現在の中国東北部)に渡り、植物学者の大賀一郎に師事して植物画の技法を学ぶ。「日本の植物学の父」と呼ばれた牧野富太郎からも指導を受ける。

終戦後はソ連に3年間抑留させられたものの無事帰国し、その後は主に教科書や百科事典に掲載する植物の原画の作成を手がける。日本桜集(平凡社刊、1972年)、NHK 趣味の園芸(NHK、1973-1977年)等掲載多数。1970(昭和45)年には二口善雄らと日本ボタニカルアート協会を創立し、従来の科学的な植物画の世界を芸術としてのアートの世界に引き上げることを目指し、展覧会を開催。

太田は桜を深く愛し、8年をかけて桜の開花時期と共に長崎県の大村から、北海道の根室までの各地を巡り、植物学者の大井次三郎との共著で図譜『日本桜集』にまとめる。この間岐阜県白川村で新種のヤエザクラを発見し、オオタザクラと命名。原本は現在岐阜県の天然記念物に指定されている。

○ボタニカルアート  
対象となる植物を科学的に正確に、かつ特徴を捉えて描き出した植物画

パネル② 太田洋愛(1910-1988)

◆関連事業

成章高校創立120周年記念事業成章会

## オオタザクラの移植

3月24日(水)

このオオタザクラの名は、この桜が新種であることを報告した太田洋愛(本名:保、1910～1988)にちなんでつけられています。太田洋愛は成章高校の前身である旧制成章中学校の卒業生で、ボタニカルアート(草花を正確に、かつ特徴をつかんで描き出す手法)の日本における先駆者です。オオタザクラは現在、白川郷にあるそれぞれ1本ずつが、岐阜県天然記念物と白川村天然記念物となっています。

今回移植されたオオタザクラは、白川郷の本覚寺から、武山教子さんをはじめとする岐阜成章会の役員の方のご尽力もあり、天然記念物の1本から分かれた個体を譲り受けたものです。豊橋と飛騨の造園業者が協力し合って、今日、無事に成章高校の中庭に定植作業がされました。幹回り40cm、高さ5m、樹齢およそ20年の、思ったより大きな木が、何人もの人によって時間をかけて大事に取り扱われていました。業者さんの話では、うまくいけば数週間では花が咲くのでは、とのことでした。

○オオタザクラ  
岐阜県成章高等学校

(成章会ホームページ・インスタグラムより)

パネル③ オオタザクラの移植